

こがくぼう -古河公方公園- 公園だより



2022年1月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

□公方様の森の笹刈り 12/12、12/19

■12月12日、19日の二日間、市民協働による公方様の森の笹刈りを実施しました。はじめのうちは笹を刈るのに苦戦していましたが、徐々に慣れていき、トラック数回に分けて運ぶほどの笹を刈ることができました。みなさんご協力ありがとうございました。



里山管理の難しさ

■公方様の森では、里山管理の一環として林床の笹刈りを行っています。アズマネザサは成長すると背丈が高くなり、生態系を変化させるばかりでなく、景観・防犯上のデメリットもあります。とくに生物多様性という意味で、希少植物などは環境変化の影響を受けやすく、適切に人の手を加え遷移を引き戻すことで、里山特有の生態系のバランスを維持することが大切になります。人々の生活の一環で維持されていた里山は、現代人の生活とかけ離れた存在になり、今では維持することがとても難しくなっているのです。

□清掃ボランティア 12/12

■連合茨城古河地区協議会の皆さんによる公園の清掃ボランティアが行われました。普段目の届かないところまで確認していただきました。ご協力ありがとうございました。



□民家園にウメを植樹 12/27

■円卓会議で決議された民家園の梅の植樹を実施しました。実生の梅の苗を大切に育て、そのうちの2本を移植しました。深く掘った穴に腐葉土を入れて、梅の木を植えてその周りに水をたっぷりあげます。倒れないよう竹で固定して出来上がり！無事に根付いてくれることを祈りましょう。



□御所沼凍る！ 12/27

■寒波の影響で、御所沼に氷が張りました。浄円坊池でもカルガモやオオバンが池の氷に大苦戦！鳥たちもびっくりしたようですね。



□案内看板が新しくなりました

■新しい看板になり、公園の見どころや名所旧跡の説明もとても見やすくなりました。散歩の際はぜひ参考にしてください。新しい発見があるかもしれません。



○引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください○

- ・手洗い、咳(くしゃみ)エチケット(飛沫拡散防止)の徹底
- ・3密(密閉、密集、密接)を避け、感染リスクが高まる「5つの場面」を回避する行動の徹底。
- ・新型コロナワクチンを打っても感染のリスクがあります。マスクの着用にご協力ください。

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索

こがくぼう -古河公方公園- 公園だより

2022年2月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■雪景色

1/7

■前日の大雪で、あたり一面雪景色が広がりました。いつもと違う景色でしたが、雪の光景もまた魅力的ですね！



■花桃の更新■

病気や害虫に侵されたものや立ち枯れたものを伐採・伐根し、新しい花桃に植え替えています。花桃の寿命は約20年といわれ、定期的に更新することで元気な花桃を維持できます。また、萌芽更新などを行うことで新しい芽を育てることもあります。このように、公園の桃林は若返っているのです。



■仙人池の地名碑移動

1/19

■なぜか愛宕川沿いに設置されていた仙人池の地名碑を本来の場所に移動しました。シルバーさんの手を借りて重い石碑を仙人池のほとりに設置しなおしました。



仙人池の地名碑の裏には、こんな詩が刻まれています。

ちはん
池畔すいたんに立たって見渡せばみわたせば桃花流とうかりゅう水婉然すいえんぜんと去り、御所の森ごしょのま翠黛すいだいを成す。さながら仙境のごとし。

みなさんも、ぜひ仙人池のほとりに立って、周りの景色を眺めてみてはいかがでしょうか。心が洗われるような、清らかな景色が見えるかもしれません。

■第98回上尾オリエンテーリング大会 in 古河公方

1/9

■1/9(日)、上尾オリエンテーリングクラブ主催による、『第98回オリエンテーリング大会 in 古河公方』が開催されました。

この日は1月にもかかわらず、とても暖かい日となりました。大会には遠方から参加された方も多く、主催者の報告では約150人が参加したようです。

競技中、ポイントの場所によっては、起伏のある地形や障害物に隠れているものもあり参加者が右往左往する場面も見受けられました。沢のぬかるみに足を取られ、泥まみれになりながらも、みなさん楽しそうに参加していました。



オリエンテーリングとは？

オリエンテーリングとは、地図とコンパスを使って決められたコースを短時間に走破する競技です。あちこちにセンサー式のポイントが設置されていて、スタートしてからそのポイントを経由してゴールするまでの時間を計測します。開催される場所によっては、山の中を走る過酷な競技になることもあるのだとか。思った以上にハードな競技なようです。

○引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください○

- ・手洗い、咳(くしゃみ)エチケット(飛沫拡散防止)の徹底。
- ・3密(密閉、密集、密接)を避け、感染リスクが高まる「5つの場面」を回避する行動の徹底。
- ・新型コロナワクチンを打っても感染のリスクがあります。マスクの着用にご協力ください。

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

-古河公方公園- 公園だより



2022年3月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■冬の間の公園整備～シルバーさんの活躍～



中山台休憩所デッキ修繕



藤棚支柱交換、塗装



天神橋欄干交換



富士見塚階段修繕

■春から晩秋にかけて、公園管理業務のほとんどは、除草作業や芝刈り、花桃やハスの管理に落葉回収など、自然が相手の作業になります。冬になると草花も無くなるため、特に作業がないのでは？と思われる方もいるかもしれませんが、この時期には集中的に、公園整備の様々な作業を行っています。そこで今回は、2月に行った作業の一部をご紹介します。



遊具広場他、めくるみへ
ウッドチップ散布



公園のSDGs
剪定した枝をチップ
化し再利用

■花桃の寄付・植樹

■古河ロータリークラブ様より27本、花桃オーナー制度にお申込みの皆様より7本、米銀商店様より2本、合計36本の花桃の寄付をいただきました。ありがとうございました。



【古河桃まつりの各種イベント及び出店は中止となりました】

■主催者決定により上記の通りとなりました。また、まん延防止等重点措置適用地域からのご来園等はお控えいただきますようお願いいたします。なお、駐車料金は無料となります。

●その他、古河桃まつりに関係する詳細は、古河市観光協会HP「こがナビ」をご覧ください。主催者「古河市観光協会/0280-23-1266」までお問い合わせください。



◀古河市観光協会
HP こがナビ「桃まつり」ページはこちら

◎花桃の開花状況は、公園HPにて随時更新中です。こちらからどうぞ▶



■修繕工事など■

- ①遊具を安全にご利用いただくため、専門業者による点検を踏まえ、必要な箇所の修繕を行いました。
- ②管理棟東側園路の一部と自販機前の舗装を行いました。

(古河市都市計画課)



砂利の通路を舗装▼

▲ネットや梁材など交換



●引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください●

- ・手洗い、咳(くしゃみ)エチケット(飛沫拡散防止)の徹底。
- ・3密(密閉、密集、密接)を避け、感染リスクが高まる「5つの場面」を回避する行動の徹底。
- ・ワクチン接種後も、あらゆる場面でのマスクの着用にご協力ください。

○公園だよりは公式HPからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索



-古河公方公園- 公園だより



2022年4月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■第46回古河桃まつり開催!

3/19~4/5

■3月19日から4月5日の19日間、古河市観光協会主催の古河桃まつりが開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベント・出店が中止となったものの、多くの方にご来場いただき、コロナ禍で失われた公園のにぎわいを久しぶりに感じることができました。今年は花桃と桜と菜の花が同時に楽しめる時期もあり、また、古河桃むすめのみなさんのおもてなしも好評で、来園者はみな花見を楽しんでいました。



■第81回古河公方公園づくり円卓会議3/10



3月10日に第81回古河公方公園づくり円卓会議が開催されました。今回の円卓会議では、今後の菖蒲田改修計画などについて話し合われました。結果は公方公園のHPにて公開しております。

■相ノ谷橋修繕工事完了■



しばらくのあいだう回路でご不便をおかけしていた相ノ谷橋の工事が無事完了いたしました。

■花桃寄付授受式

3/4



合計27本の花桃の苗をご寄付頂いた、古河ロータリークラブ様の花桃寄付授受式が行われました。

■園内管理■

3/19からの桃まつり開催に向けて園内を整備しました。



●新型コロナウイルス関連のお願い●

- ・手洗い、咳(くしゃみ)エチケット(飛沫拡散防止)の徹底。
- ・3密(密閉、密集、密接)を避け、感染リスクが高まる「5つの場面」を回避する行動の徹底。
- ・ワクチン接種後も、あらゆる場面でのマスクの着用にご協力ください

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索

-古河公方公園- 公園だより



2022年5月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■春の植物観察会

4/9



■4/9(土)、春の植物観察会を実施しました。講師はもりもりクラブの川田いつ子先生。園内を散策しながら、春の野草などについて興味深い話をいただきました。野原の野草を探したり、「ツピーッ、ツツピーッ」と鳴くシジュウカラの声に耳を傾けたりなど、参加したみなさんも充実した時間を過ごせたのではないのでしょうか。次回、夏の植物観察会は7/9(土)です。

■特定外来生物アレチウリについて



■アレチウリは国の特定外来生物に指定されている植物で、駆除の対象になっている植物です。繁殖力が強い大型のつる植物で、ほかの植物の上に覆いかぶさるように成長します。5~6月のまだ小さいうちならば、簡単に根ごと引き抜くことができます。夏から秋にかけて結実するので、種になる前に駆除することが重要です。

■特定外来生物クビアカツヤカミキリについて



■「クビアカツヤカミキリ(別名クロジャコウカミキリ)」は、花桃や桜などのバラ科の樹木に寄生する特定外来生物に指定されている昆虫で、ユーラシア大陸東部に広く分布しています。カミキリムシの中でも特に繁殖力が強く、成虫になったメスは、何百個もの卵をソメイヨシノやハナモモなどのバラ科の植物に産みつけます。卵からかえった幼虫が樹木に寄生すると、木の中を食い荒らし、木を衰弱させ枯らしてしまいます。この公園でも、2019年に始めて発見され、ここ数年で何本ものハナモモが被害にあいました。幼虫が寄生している合図となるのが幼虫の出す「フラス」と呼ばれる排出物です。このフラスはひき肉のように細長くうねうねした形状をしています。古河公方公園では、その元をたどることで、幼虫を捕殺し確実に駆除しています。写真のようなフラスを見つけた場合は管理棟までぜひご連絡をおねがいいたします。TEL:0280-47-1129

□古河公方公園づくり円卓会議

■4/25(木)、古河公方公園づくり円卓会議の委嘱状交付式が行われ、併せて第82回古河公方公園づくり円卓会議が開催されました。今回は、地盤沈下によって変形した管理棟のスロープについて、車いすやベビーカーでも通行しやすいように改修する案が議決されました。



第82回古河公方公園づくり円卓会議の様子

□あおぞら教室開催!

■令和4年度前期のあおぞら太極拳教室(4/27)、あおぞらヨガ教室(4/28)がそれぞれスタートしました。広い公園で、のびのびと体を動かし、健康な体を作りましょう!

●新型コロナウイルス関連のお願い●

- ・手洗い、咳(くしゃみ)エチケット(飛沫拡散防止)の徹底。
- ・3密(密閉、密集、密接)を避け、感染リスクが高まる「5つの場面」を回避する行動の徹底。
- ・制限が解除されましたが、ワクチン接種後もあらゆる場面でのマスクの着用にご協力ください。

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索

-古河公方公園- 公園だより



2022年6月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■どろんこクラブ、今年も元気に活動開始です！ 5/22(しろかき)、5/29(田植え)

■5/22(日)、ホッツケ田でお米作りを体験する「どろんこクラブ」で、田植え前の作業のひとつ「しろかき」を実施しました。はじめは田んぼの水におっかなびっくりだった子供たちも、最後の方では自ら泥に飛び込みながら作業を行っていました。途中、カエルやアメンボを見つけては追いかけているメンバーもいましたが、それがちょうどいい具合に土をほぐすことにもつながったようです。最後には土の塊もなくなって、田植えがしやすいトロトロな状態に生まれ変わりました。

●しろかきとは？

「しろかき」とは、田んぼに水をはって土を細かく砕き、表面を平らにならす作業のことです。土の状態を整えることで田植えをスムーズかつ確実にでき、苗の成長を助け、その後の管理をしやすくします。この工程が上手にできると土壌が改善され、雑草も少なくなり、稲が良く育つのです。



どろんこクラブの初仕事
いざ、田んぼの中へ！



カエルを追いかけることで
しろかきもできて一石二鳥！



カエルを捕まえて
おおはしゃぎのメンバー

■5/29(日)、いよいよ田植え本番です。しろかきでよくなされた田んぼに、メンバーが自宅で育てた苗を自分たちの手で植えました。暑い中、ずっと腰をかがめて行うつらい作業にもかかわらず、みんな元気いっぱい。目印の紐を使い、みんなで協力してあっという間に田植え終了です。はじめのうちは慣れない手つきで植えていましたが、最後にはみなまっすぐに、そして手早く植えることができました。元気に育ってくれるといいですね！

●泥に触れることで得られる効果

土や泥に触れることで、ストレス解消になる他、最近の研究によると、土の中の細菌に触れることで、体内の抗炎症作用が高まり、ストレスに強い体にもなるそうです。



暑い中、慣れない手つきでしたが
一本一本、丹精込めて植えました！

■アレチウリ駆除作業を実施しました。5/21

■5/21(土)、市民協働で、公園内に侵入した特定外来生物アレチウリの駆除作業を行いました。また、要注意外来生物のオオブタクサも一緒に駆除しました。市民のみなさん、ご協力ありがとうございました。



●引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください●

◎感染拡大防止のため、「三つの密」の回避等、基本的な感染症対策にご協力ください。

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索

-古河公方公園- 公園だより

大賀ハス 6/14 開花

2022年7月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■花桃の手入れ(寿星桃摘果作業)

6/11

■6/11(土)、市民のみなさんと協働で、寿星桃の摘果作業を行いました。今年も多く市民のみなさんにご参加いただきました。子供から大人まで、みなさん一生懸命に摘果作業を行い、たくさんの実を採ることができました。ご協力ありがとうございました!



寿星桃とは?

寿星桃は、花桃の中でも低木の種類です。自分自身で実を落とすことが苦手な品種のため、翌年の生育のために、人の手で実を摘んであげるんですよ。



■ラベンダーの無料配布(古河市香り友の会) 6/25

■6/25(土)「古河市香り友の会」のみなさんにご協力いただき、園内のラベンダーを刈り取り、来園者に無料でプレゼントいたしました。ラベンダーを手にとった方々は、みなさん嬉しそうに香りを楽しんでいました。



公園からのお願い

7月から8月にかけてクビアカツヤカミキリの成虫がハナモモ等のバラ科の樹木に産卵する時期です。もし成虫を見かけたら踏み潰すなどしてその場で捕殺し、お手数ですが管理棟までお知らせください。



■セイトカアワダチソウ刈り取り

6/25

■6/25(土)「みどりネットワーク」のみなさんで、公園南側の一部のセイトカアワダチソウの刈り取りを行いました。セイトカアワダチソウは、要注意外来生物に指定されていて、その名の通り背丈が高くなり、ほかの植物が日光を受けるのを妨げてしまいます。そこで、セイトカアワダチソウがよく成長する夏季に低く刈り込むことで、成長の勢いを抑え、ほかの植物の影響にならない高さにすることができます。



スズメバチにご注意!

7月から11月くらいにかけて、スズメバチの活動が活発化します。とくに、公方様の森を中心とした樹液の出る木の近辺でスズメバチを見かけたら、近寄らずに離れてください。スズメバチに刺激を与えると攻撃してくる恐れがあります。また、公園内に巣を発見した場合は直ちに管理棟までご連絡をお願いいたします。



古河公方公園管理棟(管理事務所)

連絡先: 0280-47-1129

○引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください○

◎感染拡大防止のため、「三つの密」の回避等、基本的な感染症対策にご協力ください。

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索

-古河公方公園- 公園だより



2022年8月号
【発行】
(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■どろんこクラブ 草とり・アイス作り 7/17

■メンバーみんなで植えた稲もだいぶ成長し、ホッツケ田の風景もすっかり夏です。この時期気になるのが、田んぼに入り込んだ雑草。今回は、みんなで手分けして雑草を抜き取る作業をしました。



作業が終わった後は、冷たいアイス作りで身も心もリフレッシュ！疲れた体に自分たちで作った甘いアイスが染み渡った1日でした。



■夏の植物観察会 7/9

■もりもりクラブの川田いつ子氏を講師に迎え、夏の植物について楽しく学びました。次回「秋の植物観察会」は9/10です。



■前期あおぞら教室ヨガ・太極拳終了

■前期のあおぞら教室が終了しました。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。後期あおぞら教室の予定は、太極拳が8月31日(水)から、ヨガが9月1日(木)からです。募集開始は8月15日(月)から。ご参加お待ちしております。



■古河くらしの会 7/12

■古河くらしの会のみなさんに、公園の花壇にマリーゴールドを植栽していただきました。ご協力ありがとうございました。



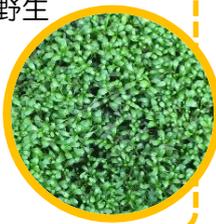
■アジサイのお手入れ(剪定作業) 7/25

■公園にあるアジサイの剪定作業を、市民協働で実施いたしました。アジサイは7月下旬までに適切に剪定することで、翌年の花付きが良くなります。また、風通しもよくなり、病害虫を予防することにもつながります。今回剪定したアジサイの枝は、挿し木用として参加者のみなさんにプレゼントしました。今後とも、古河公方公園に愛着を持っていただけるよう様々な企画を用意する予定です。お楽しみに！



■グロッシスティグマ(ハビコリハコベ)

園内に、アクアリウムで植えられる「グロッシスティグマ(ハビコリハコベ)」が侵入していることがわかりました。本来ならば水槽の中だけで楽しむ植物が、人間の都合で捨てられ、野生化してしまっただけです。発見次第随時駆除していますが、生態系を乱す原因は昔から人間だということを忘れないようにしましょう。



○引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください○

◎感染拡大防止のため、「三つの密」を徹底的に避ける等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

-古河公方公園- 公園だより



ヒガンバナ

2022年9月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■静かに忍び寄る外来生物『ツヤハダゴマダラカミキリ』とは!?

ツヤハダゴマダラカミキリとは?

■みなさん、外来生物というワードをご存じでしょうか。元から日本にいた生物ではなく、人間の手で意図的もしくは無意識に外国から持ち込まれた生物のことです。植物から昆虫、動物までその数ははかり知れません。そんな中、古河公方公園にも外来生物であるツヤハダゴマダラカミキリが侵入してきました。外見は在来のゴマダラカミキリとほとんど変わらないので、一目見て気が付くことはほとんどないでしょう。しかし、よくみると、ゴマダラカミキリには前胸背板に對の白い斑紋と羽根の根元がざらついているのに対し、ツヤハダゴマダラカミキリには斑紋がなく、そのすぐ下の羽根の付け根がツルツルしています。この昆虫は世界の侵略的外来生物ワースト100に指定されており、何種類もの広葉樹の樹種に幼虫が穿孔し、木が枯れる原因になるのです。

■数年前から園内のベニバナトチノキに虫食いの穴が空き始め、被害を確認していました。しかし当時は専門家も把握しておらず、令和4年に入り、実は外来生物のツヤハダゴマダラカミキリによるものだったと確認されました。在来のゴマダラカミキリも生息しているので、区別が付きにくいのが現状ですが、下の図のように、ごく微小な違いがあり、よくみると区別をすることができます。発見した場合は管理事務所までご連絡ください。TEL:0280-47-1129



白い斑紋
ザラザラ



斑紋なし
ツルツル

■御所沼水質調査 8/17



■今年も専門業者による御所沼の水質検査を実施しました。検査結果のデータを参考に、沼の動植物への影響を踏まえながら、水質の改善の検討と対策に活かしていきます。

■スズメバチに注意!

9月から10月にかけて働き蜂の攻撃性が非常に強くなり、巣の近くを通るだけで襲われてしまうことがあります。ご注意ください。

スズメバチの巣を発見した場合は管理棟へご連絡ください。

古河公方公園管理事務所

TEL:0280-47-1129



■ホツケ田をカモから守れ!

■夏も終わりに近づくと、どろんこクラブで稲を育てているホツケ田には稲穂が実り始めます。しかしその稲穂を狙う生物がいます。それがカモです。近年、ホツケ田では、カモがお米のおいしさを憶えてしまったようで、稲穂を食べてしまうという被害が勃発。そこでここ数年は、試行錯誤して田んぼの周りをネットで囲い、カモの被害から稲を守っています。



カルガモ

■第83回古河公方公園づくり円卓会議

■8月25日(木)に、スペースU古河にて第83回古河公方公園づくり円卓会議が開催されました。円卓会議の進め方や花桃の樹勢回復について、ボランティアの話など、様々な意見が交わされました。



○引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください○

◎感染拡大防止のため、「三つの密」を徹底的に避ける、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索

こがくほう -古河公方公園- 公園だより

2022年10月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

タカノハスキ

■いよいよ待ちに待った収穫です！

どろんこクラブ「稲刈り」9/25



■9月25日(日)、どろんこクラブで稲刈りを行いました。待ちに待った収穫の日です。収穫直前で台風が2回も来てしまい、どうなることかと心配

しましたが、当日の天気は秋晴れ。最高の収穫日和でした！前日の雨の影響で、ホツケ田にぬかるみが残っていたものの、そこは子どもたちのやる気に火が付いたのか、想定より早い時間で稲刈りを終えました。あとは刈り取った稲を縛り、稲を天日干しにするための『稲木(いなぎ)』につるす作業です。



まずは、刈り取った稲を麻ひもなどで縛ります。縛った稲の束を半分に分け、縛った部分をハサミのようにひねり、稲木につるしていきます。このように、刈り取った稲を稲木につるし、天日干しにする工程を『稲架掛け(はさがけ)』と呼びます。収穫した稲を全部つるし終わったら、最後に御所沼のカモに稲穂を食べられないようネットを掛けて本日は終了。次回はいよいよ最後の作業『脱穀』です。お楽しみに！



■スキ無料配布

9/9~9/10

今年の十五夜は9月10日でした。管理棟の前では、9/9~9/10の2日間、毎年恒例のスキの無料配布を行いました。
★十三夜は10月8日(土)です。



■秋の植物観察会

9/10



夏から秋へと変化が見え始める秋、もりもりクラブの川田いつ子さんを講師に迎え、いろいろな植物について楽しいお話を聞くことができました。

稲架掛け(はさがけ)とは？

刈り取って束ねた稲を棒などに架けて約2~3週間、天日(太陽光線)と自然風によってゆっくり乾燥させます。この自然乾燥を「稲架掛け」と言います。ゆっくり乾燥させることでお米が割れにくくなり、きれいなお米に仕上がるそうです。また、一説には、逆さにして天日にさらすことで、葉や茎に残っていた養分がモミに集まって後熟が進み、お米を炊いた時の味やツヤが豊かになるといわれています。

■後期あおぞら教室開始！

後期のあおぞら太極拳・ヨガ教室が、それぞれ8/31、9/15から始まりました。青空の下、気持ちいい汗を流し、心も体も健康になってくださいね！

●引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください●

- 新しい生活様式に基づいた行動(手洗いと手指消毒、3密の回避など)をお願いいたします。
- ・空いた時間・場所を選ぶなど、基本的な感染対策にご協力ください。

●公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索

こがくぼう -古河公方公園- 公園だより



2022年11月号
【発行】
(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■どろんこクラブ いよいよ最後の作業『脱穀』です！

10/16

■10/17(日)どろんこクラブで最後の作業となる「脱穀」を行いました。前回9/25に収穫した稲を、昔の農機具を使用して脱穀に挑戦です！使用する農機具は2つ。『足踏式脱穀機』、『唐箕(とうみ)』です。どちらも一筋縄ではいかない農機具です。コツをつかんでうまく使いこなし、おいしいお米を手に入れましょう！

足踏式脱穀機を使用した慣れない作業に、みなさん戸惑いの色が隠せません。しかし作業が進むにつれ、いつのまにか手際が良くなり、コツをつかんだ子は、手さばきが職人のようでした。また、唐箕は一人では作業できない農機具のため、みなで協力して作業を行っていました。昔ながらの手作業で、お米を作る大変さを実感できたのではないのでしょうか。

足踏式脱穀機とは、踏板をリズムよく踏むと、Ω字型の針金の付いた円筒部分が回転し、そこに稲穂を押し付け、粃(もみ)をこそぎ落とす農機具です。大正から昭和にかけて使用されており、文字も右から左に書かれていますね。



唐箕(とうみ)とは、ハンドルを回し、風を送り、粃とそれ以外を選り分ける農機具です。江戸時代あたりから日本で普及し、その構造は現代のコンバインなどにも取り入れられています。

さて、どろんこクラブとしての作業はこの日が最後となります。今回の脱穀作業では、積極的にお手伝いをするメンバーもいて、半年ではありますが、成長を大いに感じることができました。あとは採れたお米を精米して出来上がりです。たのしみですね！

■すすきの無料配布

10/7~8

■今年は十三夜が10/8(土)でした。今回も、前回の十五夜同様、すすきの無料配布を行いました。十三夜は、秋の収穫に感謝しながら美しい月を愛でる習わしだそうです。ちなみにお供え物は旬のもの「豆」や「栗」をチョイスするのがいいですよ。



■ハスの果托を使用したハンドクラフト教室開催！

10/22



■ハスの果托を使用したハンドクラフト教室を開催しました。果托の穴の部分に、綿とちりめんのできた詰め物をして装飾を施します。ちりめんの種類が多様多様なので、出来上がったものは唯一無二。みなさん苦戦しながらも作品作りを楽しんでいました。教室は2時間程度でしたが、参加者のみなさんそれぞれが充実した作品作りができたのではないのでしょうか。来年も予定しておりますのでみなさんのご参加お待ちしております。



○引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください○

■感染を拡大させないため、基本的な感染防止策(必要な場面でのマスクの着用、手洗い、三密の回避、換気)の徹底にご協力をお願いいたします。

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索

こがくぼう -古河公方公園- 公園だより



ヤブコウジ

2022年12月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

□ どんこクラブのお米「どんこ米」が完成!

■脱穀したお米を精米し、家族ごとに袋詰めしました。名付けて「どんこ米」!今年は合計16kgもの白米がとれました。作業を重ねていくうちに参加した子ども自身が積極的に仕事を見つけたり、声を掛け合ったりと、短期間でしたが成長が見られた活動になりました。来年もまた、みなさんの笑顔に会える日を楽しみにしています。



□ 後期あおぞら教室終了

■後期あおぞら教室(ヨガ、太極拳)が終了しました。今期は天候不順な日が多ありましたが、無事全10回開催することができました。来年度も引き続きあおぞら教室を開催予定ですので、興味のある方は是非ご参加ください。



あおぞらヨガ教室

□ 第23回古河よかんべまつり 11/5,6

■11月5(土)、6(日)の二日間、3年ぶりに古河よかんべまつりが開催されました。コロナ禍でイベントが制限されていたこともあり、園内はいつにもまして非常に多くの人でにぎわっていました。地域に根付いたこのイベントでは、行政や企業を含め、多種多様な団体も参加していました。また、子どもたちが職業体験できる「コガザニア」や、ゴミ分別を推進する「エコステーション」など、SDGsの推進を目的としたブースもありました。両日ともに天気が良く、絶好のおまつり日和。来園者はみな楽しい時を過ごせたのではないのでしょうか。



あおぞら太極拳教室

□ 古河くらしの会 11/12

■11月12日(土)古河くらしの会のみなさんにより、園内の花壇にチューリップの球根を植栽していただきました。いつもご協力ありがとうございます。

□ 第84回古河公方公園づくり円卓会議 11/24

■11月24日(木)、第84回古河公方公園づくり円卓会議が開催されました。今回の会議では、円卓会議の運営方法の整備について議決されました。また、彼岸花の植栽についても話し合われました。今回の会議の結果は公園のホームページにて公開しております。
古河公方公園 HP <https://www.koga-kousya.or.jp/koga-park/>



古河くらしの会

○ 引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください ○

基本的な感染症対策にご協力ください。(・手洗い、手指消毒、うがいの実施、換気の徹底。・3密を回避し、人との距離を確保。・場面(屋内、屋外)に応じて、適切にマスクを着脱。など)

○ 公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索